

外のきけんからどうやって身を守るの？

こう どう
行動しよう！

おぼ
覚えよう！

建物の近く

かん板や屋根がわら、窓ガラスなどがわれて落ちてくることがあります。かばんなどで頭を守りながら、すぐに建物からはなれましょう。



ブロックべいや自動販売機のそば



へいや自動販売機がたおれてくるおそれがあります。すぐにはなれましょう。

川や橋の近く

橋がこわれたり、津波が川をさかのぼって来るおそれがあります。急いではなれて、安全な場所へ避難しましょう。



こうさてん

信号機が落ちてきたり、電柱がたおれてきたりするおそれがあります。また電線が切れてたれ下がるきけんがあります。急いではなれましょう。



デパートやスーパーで買い物をしているとき

ショーウィンドーやたおれやすい商品だからはなれ、かばんや買い物かごなどで頭を守りましょう。



がけのそば

がけくずれなど土砂災害のきけんがあるので、できるだけ遠くにはなれましょう。



バスや電車に乗っているとき

急停車に注意し、かばんなどで頭を守ります。立っているときは、つりかわや手すりにしっかりつかまりましょう。



海の近く

強い地震を感じたら、津波警報が出る前でも、すぐに高台など安全な場所へ避難しましょう。

▶ 11 ページで、くわしく学びましょう



津波が来る！ どうしたらいいの？

なんが
考えよう！

旅行先の海岸近くで地震が起これと、津波が発生するきけんがあります。その場合、どうしたらよいでしょうか。どこににげたらよいのか考えてみましょう。



どこににげる？



こた
答え

どこににげると答えたかな？

自分の答えと比べて、正しい知識を身につけましょう。



- できるだけ早く、高い場所へ
- 「遠く」より「より高い」場所へ
- すぐに高台へ避難する など

ワンポイント！

海水浴場ではライフセーバーの指示にしたがって、海の家より高いところへ避難する。

こう どう
行動しよう！

おぼ
覚えよう！

近くに高台がない場合は、高く丈夫な建物の上の階へ避難するようにしましょう。

